

### 開 講 日

池袋本校 8/14(木)

### 科 目

#### 択一式全科目

☆単体でのお申込はできません

### 回 数

全 44 回

### 対 象 者

- 基礎知識の習得がひと通り済んでいる方
- 図表を使って知識の整理をしたい方
- 合否を分ける分野・論点に集中して講義を受けたい方
- アウトプットだけで点数が伸び悩んでいる方

### 使 用 教 材

- オリジナルテキスト (受講料込)
  - ◎ OnlineStudy 上へのレジュメ Web アップはございません。
- [板書]の取扱い
  - ◎ 各自 Web 上にて閲覧・プリントアウトでご利用いただきます。
  - ◎ 発送対応いたしません。

### タイムスケジュール

前半講義  
(85分)

休憩  
10分

後半講義  
(85分)

### 担 当 講 師



根本 正次  
LEC専任講師

## コンパクトな図表を使って、 理解・整理・記憶・アウトプット

ある程度までは点数が伸びても、そこから点数が伸びない理由は为什么呢？

- 原因1) あいまいな知識が多すぎるため、整理できずに消化不良になっている
- 原因2) アウトプット学習をやりすぎて、問われ方を変えただけで答えられなくなっている
- 原因3) 知識を絞りすぎていて、新しい知識を習得しない

本講座では、これらを克服することによって、「基準点を突破できるレベル」「合格レベル」に引き上げます。

### POINT 1 合格者絶賛！図表中心の教材！

ある程度の受験回数があり、十分な知識量を学んできたはずの方が合格点に届かない原因はどこにあるのでしょうか。その原因の1つは、知識の混乱、使い分けができないことにあります。また、覚えたはずの知識でも、繰り返さない（繰り返せない）うちに、時間とともに「うろ覚え」の状態になることも原因として挙げられます。他にも、問題メインに学習している人は、知識を覚えるのではなく、問題を覚えてしまっていて、問われ方を変えられるだけで間違える傾向があります。

本講座では、司法書士試験の膨大な知識を「正確に」「素早く」整理するため、知識をコンパクトに図表化したテキストを提供します。これにより、知識の使い分けができるようになり、繰り返すことで知識の劣化を防ぎ問われ方を変えられても答えられる真の知識を習得できます。

### POINT 2 合否を分ける分野・論点に絞った「合格に効くメリハリ」をつけた講義

本講座の最大の特徴です。全科目、図表ベースでテキストを作成しています。図表を多用していることから、「見やすく」「論点が分かりやすく」「コンパクトで短期間に確認できる」ため、繰り返し学習がしやすくなっています。司法書士試験の最大の敵は、知識の曖昧さです。図表を中心にしたこの教材を何度も何度も繰り返し、うろ覚えを無くしていきましょう。

### POINT 3 アウトプットしやすいレイアウト

司法書士試験は暗記が中心になるため、テキスト自体を覚えることが一番効率が良いのは間違いありません。本講座のテキストは単に図表になっているだけでなく、

- ・ ○×で結論が書かれている
- ・ 論点、結論の形式で記載されている
- ・ 覚えるべき表かどうか一目で書かれている
- ・ (民法・民訴) 条文形式のものは、条文が穴あき形式になっている

など、とにかくアウトプットしやすい形式になっています（是非テキストサンプルを見てください）。

配 信 開 始 日

7/25(金)

受講期限 / 配信期限 2026/7/10(金)

科 目

**不動産登記法・商業登記法**

☆単体でのお申込はできません。

回 数

全 12 回

対 象 者

- 基礎知識の習得がひと通り済んでいる方
- 記述式で見やすく、学習しやすい教材が欲しい方
- 記述式の学習方法に悩みを持たれている方

使 用 教 材

- オリジナルテキスト【受講料込】  
◎OnlineStudy 上へのレジュメ Web アップはございません。  
[板書]の取扱い  
◎各回 Web 上にて閲覧、プリントアウトでご利用いただけます。  
◎発送対応いたしません。

タイムスケジュール

前半講義  
(85分)

休憩  
10分

後半講義  
(85分)

担 当 講 師



根本 正次  
LEC専任講師

**記述式の地力を上げるための特訓講座**

近年の本試験問題は、小手先の知識では対応できない問題になっています。これを攻略するには3つの要素が必要と考えられます。

- 1 実体法、手続法を駆使して、権利変動を読み取ること
- 2 いわゆるひな形、申請書でエラーを最小限にすること
- 3 上記のことを、厳しい時間制限の中でこなせるようになること

近年、特に重要になってくるのは2、3です。

知識があっても、表現方法が分かっても、「瞬時に」知識が出てこなければ、午後の時間勝負に勝てません。

また、分かっても間違える失点（エラー）を最小限に防ぐ必要があります。

本講座では、知識を充実させることはもちろんのこと、上記の2、3を重視した指導をしていきます。

**POINT 1**

**まずは小問形式の演習を通じて、記述の総合力を上げる特訓を積む**

第1～4回の講義では、

テキストに掲載している事実関係から、申請書を書く特訓を繰り返していきます。

この特訓を行うことにより、

知識があるかどうか、時間の縛りがあっても必要な知識が出てくるか、エラーを起こさないか、ご自身の記述力を確認しながら、弱いところを強めていきます。

**POINT 2**

**ひな形、知識、論点、テクニック  
記述式に必要な要素を網羅したテキスト**

ここで使用するテキストは「事例形式の申請書」をベースに、その申請書についての実体法・登記法の知識、記述での論点、テクニックを網羅できるように作っています。（所有権・抵当権・根抵当権については択一知識もこれ一冊で十分です。）

さらに、文章で内容を記載するばかりでなく、「図表を多用し視覚的に見やすい」「Q&Aを所々に取り入れてアウトプットしやすい」「例題などを使って実践的に使える」教材に仕上げていますので、繰り返しの復習に便利です。

本教材を使って、記述式で問われる知識を「漏れがなく」「正確に」「瞬時に出せる」状態を作り上げましょう。

**POINT 3**

**本試験レベルの問題演習で、戦略・テクニック・気づきの力を養う！**

第1～4回では、講義教材を使った地力を上げるための指導をし、

第5・6回では、本試験（レベル）の問題の演習をします。

この演習の解説を通じて、

- ・戦略（例「この問題は第○欄で点数を稼ぐ」「第○欄は捨てるべき部分」）
- ・テクニック（例「〇〇を見たら〇〇の行動をとるべき」）
- ・気づきの力（例「〇〇の情報があるということは〇〇の論点があるはずだ」）

を養っていきます。

（第1～4回は7月下旬から受講できるように、収録しています。第5・6回は本試験問題を見た上で、2026年向けの戦略を踏まえて収録します。）